

# 第2回 八代港の中長期ビジョンに関する検討会

- 本検討会では、概ね20～30年先を見据えた際に八代港で必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、「中長期ビジョン」として今後の方針・施策等を整理することを目的として、港湾利用者や行政関係者等による議論を進めている。
- 令和4年12月19日に開催した第2回検討会では、第1回検討会（令和4年10月13日開催）での意見等を踏まえて整理した八代港の目標・取組の方向性・取組方策の案について、各構成員から意見を頂いた。令和4年度末までに第3回を開催予定。



## 議事次第

- 日時：令和4年12月19日（月）14:00～16:00  
 場所：八代グランドホテル 2F 瑞穂
1. 開会
  2. 議事
    - (1) 第1回検討会の振り返り等
    - (2) 八代港における中長期ビジョン(案)について
      - 1) 課題の整理
      - 2) 目標(案)と取組の方向性(案)
      - 3) 取組方策(案)
    - (3) 農林水産品の輸出拡大についての情報提供
    - (4) 意見交換
  3. 閉会

## 構成員一覧

	所属
企業・団体	RCL Japan Holdings 合同会社
	くまもと県産木材輸出促進協議会
	ジャパンオイルネットワーク(株)
	パシフィックグレーンセンター(株)
	八代商工会議所
	八代商工会議所工業部会
行政	八代港運協会
	熊本県
	八代市
	九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

(敬称略、順不同)

## 主な議題

### 物流・産業

- 用地不足への対応と土砂処分場の確保
- 港内（ふ頭間）および背後圏へのアクセス強化
- 農林水産品の輸出拡大

### 人流・賑わい

- クルーズ船受入拠点「くまモンポート八代」を基点とした周辺観光の充実

### 環境・エネルギー、防災・減災

- カーボンニュートラルポートの形成
- 防災・減災対策の強化



検討会の様子

## 検討会で頂いた意見の一例

- 用地不足については、土砂処分場所の検討を含めた港の拡張についての議論と並行して考えていくべき。
- 八代港付近から広域道路ネットワークへの新たな接続施設を設けるなど、周辺交通との接続強化を検討してみても。
- クルーズ船については、中国の旅行客が大きなターゲットであるが、今のところ先行きが不透明。
- 観光地だけでなく体験や人といった観光資源にも目を向けよう。

第2回 八代港の中長期ビジョンに関する検討会  
議事概要

日時：令和4年12月19日(月)14:00～16:00

場所：八代グランドホテル 2階 瑞穂

【主な意見】

- 土地不足の課題については、20～30年後を見据えた場合、港の拡張を含めた検討を行うのが良いのではないかと。
- 企業立地に関する助成制度も設けられているが、企業立地の話が進んでも土地がないという状況が懸念される。
- 新たな土砂処分場の検討の際には、小型船の航路についても考慮してもらいたい。
- 八代港付近から広域道路ネットワークへの新たな接続施設を設けるなど、周辺交通との接続強化についても検討してみてもは。
- 社会科見学などでにぎわいを創出するのも良いのではないかと。
- クルーズ船については、中国からの旅行客が大きなターゲットであるが、現状先行きが不透明。
- 観光戦略については、観光地だけではなく体験や人も貴重な観光資源となる。

【農林水産品の輸出拡大についての情報提供】

- 八代港は、100km 圏内に多くの木材生産地があり、地理的に優位な位置にあるため、木材輸出において重要な港となっている。
- 日本からの農林水産物・食品の輸出額について、2022年は10月までの累計で1兆円に到達（昨年より1月早い）。また、日本からの農林水産物・食品の輸出先は、1位から順に、中国、アメリカ、香港、台湾、ベトナムとなっており、その5国で輸出額の約7割を占めている。

(以上)